

開講日	2010年4学期 火曜日 18:30-20:30	講義場所	研究棟11階講義室B	医	技	保
コーディネーター	耳鼻咽喉科教授 村上信五、 脳神経外科教授 山田和雄、 眼科教授 小椋祐一郎			●	●	○
				※●: コア科目、 ○: 選択科目		

科目概要 および 期待される 成果	<p>【概要】21世紀は脳と感覚器の時代とも言われている。脳の高次機能や視覚、聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚などの感覚器は、ヒトが生命を維持し、生活のQOL向上に重要な役割を果たしている。科学技術の進歩により脳の働きや感覚器のメカニズムが明らかになるとともに脳や感覚器疾患の病態が解明され、治療も急速に進歩してきた。本講座では脳の機能や感覚器のメカニズムを理解するとともに、これら疾患の病態と最新の治療を紹介する。</p> <p>【期待される成果】脳の機能や視覚、聴覚、平衡覚、嗅覚、味覚の分子生物学的機構を解説することにより、疾患の病態や治療を理解し、ひいては疾患の発病予防につなげることが期待できる。</p>
----------------------------	---

サブカテゴリ	No	タイトル	講義概要	開講日	講師 (所属)
脳の病気 と新しい 治療法	1	脳血管内治療	脳動脈瘤、頸動脈狭窄など脳卒中をきたす病気をカテーテルで治療する方法が著しく進み、多くの病院で取り入れられています。これをわかりやすく概説します。	4月6日	間瀬光人 (脳神経外科准教授)
	2	脳深部電極刺激療法	パーキンソン病、振戦、不随意運動症などは、脳深部の特定の核をターゲットとして刺激することで、治療が可能になってきています。これらを解説します。	4月13日	梅村 淳 (脳神経外科准教授)
	3	聴神経腫瘍の最先端治療	聴神経にできる腫瘍は全脳腫瘍の10%程度あり、治療として手術と定位的放射線治療があります。これらの選択、手術の工夫などを解説します。	4月20日	相原徳孝 (脳神経外科病院准教授)
	4	覚醒下脳腫瘍手術	脳内にできる腫瘍は摘出による根治と摘出による機能障害の危険の狭間で治療されています。摘出後の機能障害を避けるため、覚醒下に摘出部位の機能を調べながら行う手術が注目されています。これらを解説します。	4月27日	谷川元紀 (脳神経外科講師)
	5	髄液減少症～新しい疾患概念と治療～	外傷の後、脳脊髄液が漏れて、頭痛、めまいなどをきたす病気が注目されています。この疾患の概念、診断、治療法を概説します。	5月11日	西尾 実 (脳神経外科学内講師)
耳鼻咽喉科の病気 と新しい 治療法	6	難聴の克服-人工内耳医療を中心に-	補聴器でも効果が得られない高度難聴者は会話もできず、手話や筆談に頼らざるを得なかったが、人工内耳により再び聞こえを取り戻すことが可能になった。人工内耳の現状と展望を解説する。	5月18日	渡邊暢浩 (耳鼻咽喉科病院准教授)
	7	めまいの診断と新しい治療	感覚器の中でも平衡機能は大変表現しにくい感覚です。めまいにかかった患者は医療者にその苦痛を伝えることは大変であり、医療者にとっても診断し難い疾患です。めまいについてその診断と治療について解説します。	5月25日	中山明峰 (耳鼻咽喉科病院准教授)
	8	顔面神経麻痺の病因。病態と最新の治療	顔面神経麻痺は精神的、社会生活にも影響を及ぼす疾患である。麻痺の病因と病態、最新の治療につき解説します。	6月1日	村上信五 (耳鼻咽喉科教授)
	9	耳鳴りと新しい治療	耳鳴りはいまだ解明されておらずその治療法も様々です。耳鳴りの原因や最近の治療などを解説します。	6月8日	高橋真理子 (耳鼻咽喉科助教)
	10	嗅覚障害・味覚障害の原因と治療	日常生活の質 (Quality of life, QOL) を低下させる嗅覚障害・味覚障害の診断・治療法について解説します。	6月15日	鈴木元彦 (耳鼻咽喉科講師)
眼科領域 の疾患	11	小児眼科・神経眼科疾患	未熟児網膜症、網膜芽細胞腫、斜視弱視など小児特有の眼疾患および眼球運動障害などの神経眼科疾患について解説します。	6月22日	加藤亜紀 (視覚科学助教)
	12	白内障・緑内障・ぶどう膜疾患	日常よくみる白内障、緑内障、また診断・治療が難しいぶどう膜炎についてその診断・治療法について解説します。	6月29日	野崎実穂 (視覚科学講師)
	13	網膜・硝子体疾患	視力を脅かす網膜、硝子体の疾患の診断と治療について豊富な図やビデオなどを用いて解説します。	7月6日	小椋祐一郎 (視覚科学教授)
	14	外眼部・前眼部疾患	結膜炎、ドライアイなどに代表される眼瞼、涙器、結膜、角膜の疾患について解説します。	7月13日	安川 力 (視覚科学准教授)
	15	眼科救急・他科連携	外傷、急性緑内障などの眼科救急疾患の診断と治療法および他科との連携が必要な眼疾患について解説します。	7月20日	吉田宗徳 (視覚科学准教授)